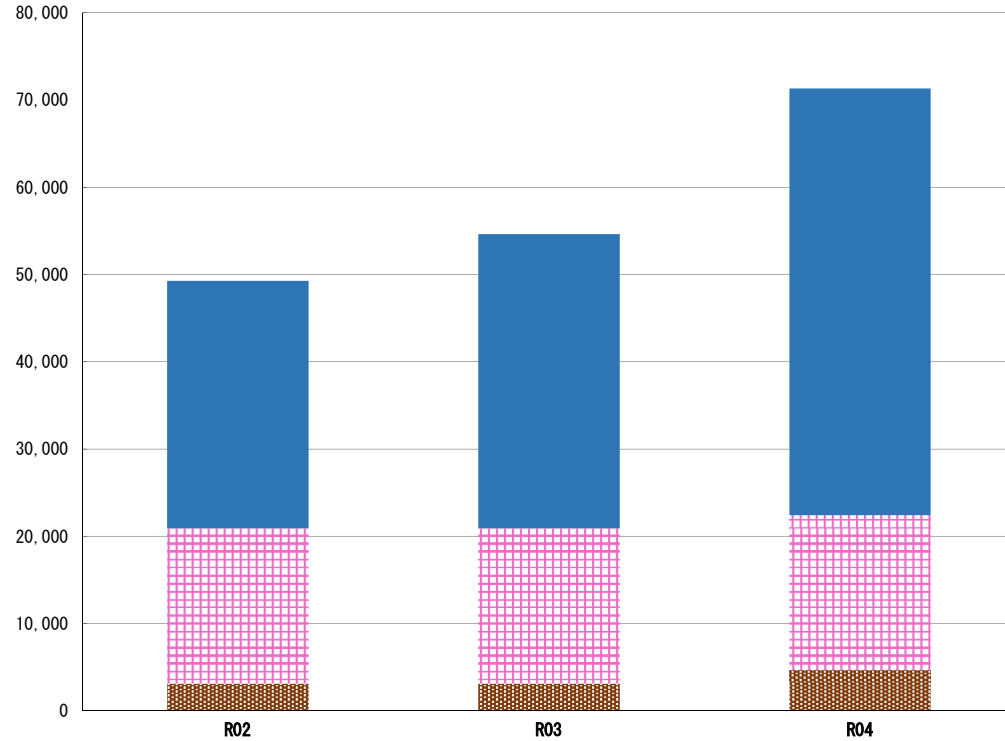


(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）

(百万円)



区分	年度	R02	R03	R04
	財政調整基金	3,107	3,107	4,634
	減債基金	17,788	17,788	17,790
	その他特定目的基金	28,400	33,742	48,901
	福祉対策等基金	5,768	5,748	8,366
	公債費臨時対策基金	-	-	8,352
	和歌山県土地開発公社債務保証対策基金	-	6,314	6,314
	産業開発基金	5,796	5,536	5,956
	地域医療介護総合確保基金	4,285	4,450	4,418
	基金残高合計	49,295	54,638	71,325

令和4年度

和歌山県

基金全体

(増減理由)

令和8年度までの間において増加する県債の償還に要する経費の財源に充てることにより、行財政改革の円滑な推進のための臨時的対策を講ずるための公債費臨時対策基金、退職手当の支給に要する経費の財源に充てるための退職手当基金、令和7年に開催される2025年日本国際博覧会への県の出展及び当該博覧会に係る広報活動並びに当該出展のための先端的な技術の振興に要する経費の財源に充てるための2025年日本国際博覧会対策基金の新規設置等により、基金残高は前年度に比べ167億円増加し、713億円となった。

(今後の方針)

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持していく。
その他、産業開発基金の企業立地奨励金等への充当や、地域医療介護総合確保基金の医療・介護施設の整備や医療・介護従事者の確保等への充当など、その他特定目的基金を有効に活用していく。

財政調整基金

(増減理由)

令和4年度は、令和5年度に実施する交付金の国への返還にあてるため、15億円の積立を行った。

(今後の方針)

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持していく。

減債基金

(増減理由)

近年、新規積立や収支不足に伴う取崩しを行っておらず、同規模を維持している。

(今後の方針)

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持していく。

その他特定目的基金

(基金の使途)

- 福祉対策等基金：福祉対策等の充実
- 地域医療介護総合確保基金：医療介護総合確保法に基づく地域における医療・介護の総合的な確保
- 産業開発基金：企業の導入及び産業の近代化
- 公債費臨時対策基金：令和8年度までの間において増加する県債の償還に要する経費の財源に充てることにより、行財政改革の円滑な推進のための臨時的対策を講ずるため
- 退職手当基金：退職手当の支給に要する経費の財源に充てるため
- 2025年日本国際博覧会対策基金：令和7年に開催される2025年日本国際博覧会への県の出展及び当該博覧会に係る広報活動並びに当該出展のための先端的な技術の振興に要する経費の財源に充てるため

(増減理由)

- 福祉対策等基金：重度心身障害児者医療費助成の一部への充当による減少
- 地域医療介護総合確保基金：医療介護総合確保法に基づく地域における医療・介護の総合的な確保事業への充当による減少
- 産業開発基金：企業立地奨励金等への充当による減少
- 公債費臨時対策基金：公債費臨時対策基金の新規設置による増加
- 退職手当基金：退職手当基金の新規設置による増加
- 2025年日本国際博覧会対策基金：2025年日本国際博覧会対策基金の新規設置による増加

(今後の方針)

- 福祉対策等基金：県単独医療費助成に充当
- 後期高齢者医療財政安定化基金：高齢者医療確保法に基づき、予期せぬ保険料未納により財源不足となった場合等において、和歌山県後期高齢者医療広域連合に対して資金貸し付け
- 産業開発基金：誘致企業への立地奨励金等に充当
- 公債費臨時対策基金：令和8年度までの間において増加する公債費に充当